

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和3年11月2日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>GUSH mania COMICS                      きもちいい穴シェアハウス                      令和3年10月20日発行</p>	<p>人格否定や非合法という問題はなく、ストーリーは純愛へ導くものであるが性器は白抜きで修整はあるものの甘く、三人で行為におよぶ点など考えると指定該当。</p> <p>性器の修整が甘いところがあり、性描写も多く指定やむなし。</p> <p>性器の修整が非常に甘く形状も認識できるレベルであり、卑わい感を増している。人格を否定するような描写はないものの擬音、体液の描写が激しく、卑わい感をより強く感じる。指定該当やむなし。</p> <p>暴力的なシーンはないが、ほぼ全編にわたり3人による性行為のみを主題としてストーリーが展開され、体液、擬音の描写も多く、性器の消しもあまい。器具の使用もなされている。指定該当やむなし。</p> <p>シェアハウスでの3人の関係が描かれていて、全体的に性的描写になっている。目隠し、器具を使うなどあるが、強制的な側面はあまり感じられない。しかし、性器の消しが甘く、形状が分かってしまうこと、体液描写等踏まえて指定該当。</p> <p>3人のシェアハウスでの生活。ストーリーはあまり深くはなく、3人でのセックスプレイのみに終始している。人格否定は感じられないが、セックス時の描写がリアル。擬音、体液描写も激しく、男性器も修整が甘く形状が分かる。卑わい感もある。指定該当。</p> <p>性器は何本かの白線で消されているが、消し方に統一性は無く、甘い消し方が多く見られ、むしろ形状を際立たせているように見える。全体的にストーリー性はあがるが、性交シーンが多く、擬音・体液描写も多い。指定該当。</p> <p>性器が登場する描写が多いにも関わらず、性器への修整は少ない。作者は、恋愛漫画の意図だと思われるが、ひたすら性の快楽の探求を描こうとしているように読めるため、読者層を選ぶものと感じる。指定該当。</p> <p>とにかく性器の消しが甘すぎる。ほとんど消していないに等しい。絵は上手く、その分性描写も卑わい感が強まっている。体液描写も非常に多い。ストーリーに暴力性や犯罪性は感じられないものの、常に3人での性描写で、性器の描写が多すぎるため指定該当。</p> <p>人格否定や暴力的な描写はなく恋愛感情を起点として性行為にふけるシーンが多い。男性器の修整が白マドをならべるという形で、実質的に修整の体をなしていない。指定該当。</p> <p>拘束器具を使用しているが人格否定とまでは言えない。性器を白テープ何枚かで消しているが、血管など詳細に見えていて、その部分を強調しているコマもある。指定該当。</p> <p>3人の青春恋愛BL漫画。画力があるが、性器の消し方が白線数本で、消そうとする努力や意識はみえるが、消しの甘い部分の登場回数が青年レベルを超えていると感じ、指定該当やむなし。</p> <p>絵柄が単調なこともあり卑わい感はない。一部拘束、目隠しを伴う輪姦レイプシーンはあるものの「友好」の要素もあり人格否定とまで言えるかは疑問。しかし性器の消しが甘く、形状・質感が分かる表現となっている個所が多々あり看過できない。指定やむなし。</p> <p>性器修整が甘く、拘束具の使用シーンがある。絵柄が素朴なタッチのため、卑わい感はない。修整にはもう少し配慮が欲しかった。指定やむなし。</p> <p>人格否定に該当する様な描写は無い。性器の修整は、上から線を何本か入れる形で加えられているため形状が判別できる箇所がある。テンポ良くストーリーが展開していくことから「著しく性的感情を刺激する」には該当しない。総合的に判断し、保留。</p> <p>全体に性交シーンが多く卑わい感がある。バンドで止めたり、目隠しなど人格否定につながりかねない。しかし、画力があり、恋愛ストーリーとなっていくところもあり、保留。</p> <p>性描写も多く性器の修整は甘い。ただし人格否定というレベルまでの表現や描写はない。絵もライトで卑わい感はずいぶん低い。保留。</p>

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和3年11月2日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
2	DAITO COMICS BLシリーズ 入った銭湯で口説かれています 令和3年10月5日発行	<p>性器の修整はされているが、性描写が多く指定やむなし。</p> <p>性器の修整はきちんとされている。一部に擬音、体液描写の激しい所が見受けられるが、性行為そのものの回数は多くない。ただし、結合部の描写には、卑わい感を感じる。判断に迷うが、卑わいな感じを与える描写がある以上、指定該当やむなし。</p> <p>終盤に映像会社の監督による仕事を理由にした性行為の強要があり、人格否定的な部分がある。その他は口説く側とそれに反発しつつも惹かれていく恋愛感情の展開。性交場面はコマも大きく、かなり強調されて描かれており、擬音、体液の描写がある。指定該当。</p> <p>コミカル調なタッチで描かれていて強制的な感じはあまり感じられない。性器は白抜きや、グレーになっているが形状は分かる。体液描写が激しく、極端にオープンに表現されているところも見受けられる。指定該当やむなし。</p> <p>銭湯での行為であり、常識ではありえない全裸での描写が激しい。結合部の描写も激しく、擬音、体液描写も多い。性描写のページ数が多い。人格否定や卑わい感はあまり感じられないが、青少年には不向きである。指定該当。</p> <p>絵のタッチは可愛らしく、あまりリアリティを感じさせないもので、卑わい感は少ない。一方、体液描写が飛び散るように描かれている点が気になり、ギリギリ指定該当。</p> <p>積極的な男子のなすがままに銭湯でイチャイチャするのが大部分の話。性器の修整がそれなりになされており、卑わいというレベルか判断に迷うが、終盤で映像監督が無理矢理性行為を強要するシーンがあり、青少年にはふさわしくない。指定該当。</p> <p>性器処理は完全になされている。絵は淡白で卑わい感はない。ストーリーも他愛ないもので一部パワハラレイプ的な部分はあるが作品として人格否定があるとまでは言えない。しかし公衆浴場での性交を肯定しているのは、公衆浴場を営業されている方に対するモラル欠如でもあり、青少年向きではない。指定該当。</p> <p>体液、擬音の描写が露骨で卑わいに感じられる。ページに占める性交シーンも多く成人向きとして販売するのが望ましい。指定やむなし。</p> <p>性器の修整はしっかりなされているが、擬音・体液描写の入れ方によって、一定の形状や位置を表現しているため、露骨な結合描写として目立っている部分がある。全体の性交場面は特別に多いわけではない。終盤の人格否定のままで終わる部分を含め、保留。</p> <p>行為の始まりに同意があったとは言えないが人格否定とまでは言えず、擬音、体液描写がやや多いが性器の修整などされており、さほど卑わい感を感じない。指定非該当。</p> <p>コミカルタッチでリアル感がなく、卑わいな印象を受けない。性器もしっかり消されている、指定非該当。</p> <p>人格否定に該当する描写は無い。擬音・体液描写は多めな印象で、開脚シーンもあるものの、性器は確実に白く修整が加えられており、はっきりと判別することができない様にしている配慮を感じる。指定非該当。</p> <p>ストーリーは面白い。銭湯をうまく使っている様に感じ、全体に卑わい感を感じない。暴力等による人格否定もなく、指定非該当。</p> <p>性器の消しはしっかりしている。形がわかるものもあるが、トーンで肌になじませているなど配慮はある。性描写のシーンはやや多いが激しくはない。体液が大げさだが、そもそもマンガはそういうものであり、むしろ笑える。映像監督に強引に迫られる話は、現実感がない。ギャグがメインで卑わい感は少ない。指定非該当。</p> <p>画力は高い作家さんで、特に性交シーンでは独特の液体表現がそれを際立たせている。見せ方には工夫の余地はあるかもしれないが、修整には配慮がされている。指定非該当。</p> <p>擬音や体液の描写が多いが、修整はしっかりされていて配慮がみられる。総合的にみて許容範囲。指定非該当。</p>